

# 2024年5月第1回理事会議事録

日 時：2024年5月11日（土）14：00～17：40

場 所：日本考古学協会事務所・オンライン会議

出席：辻 秀人・大竹幸恵・佐藤宏之・足立佳代・岩本 崇・大坪志子・岡林孝作・亀田直美・澤田秀実・高倉 純・田尻義了・谷口 榮・谷畑美帆・野口 淳・肥後弘幸・日高 慎・藤沢 敦・藤野次史・溝口孝司・水本和美、監事：都築恵美子・萩野谷 悟、（事務局：林 純子・近藤絵里奈）

欠席：足立拓朗・黒澤 浩・小菅将夫・山崎和巳

進行：田尻義了

議長：辻 秀人

田尻理事から、本日の出席者は22名（うち理事20名）で過半数に達しており、本理事会が成立することが報告され、議事に入った。

## 会員の訃報について

谷畑理事から、東京都の中村高志会員が3月5日、茨城県の渡邊 明会員が4月12日に亡くなられたとの報告があり、哀悼の意を表した。

## 議案第762号 退会会員の承認について

谷畑理事から、青森県の\*会員、福島県の\*会員、群馬県の\*会員、千葉県の\*会員、千葉県の\*会員・\*会員、東京都の\*会員、長野県の\*会員、愛知県の\*会員、大阪府の\*会員、大阪府の\*会員、佐賀県の\*会員、宮崎県の\*会員から2023年度をもつての退会届が提出されている旨の報告があり、承認された。

また、賛助会員（学生会員）の\*会員、\*会員から学籍の喪失により2023年度をもつての退会届が提出されている旨の報告があり、承認された。

## 議案第763号 2023年度決算及び監査報告について

肥後理事から、2023年度決算関係書類の提示があり、①当会が法人化の際に法人化前の団体に支払う形として残っていた未払金を経理上で整理し、債務免除益として収入に計上した。このことにより、貸借対照表の流動負債の未払金が減額となった。②一般会計においては、公式サイトのリニューアル経費が本年度にシステム面と合わせて実施することに計画変更されたことから、外注費が予算額に比べて大幅に残額があることが説明された。また、特別会計の科学研究費補助金の2022年度からの繰越分の収支計算書が提示された。

続けて萩野谷監事から、5月9日（木）に監査を実施し、2023年度の事業及び会計書類を監査した結果、適正に行われたと判断したとの報告があった。

審議の結果、2023年度決算及び監査報告については原案通り承認された。

## 議案第764号 日本考古学協会第90回(2024年度)総会における審議事項の提出について

佐藤副会長から、正会員の石川日出志会員・國下多美樹会員・寺前直人会員・高瀬克範

会員4名から、第90回（2024年度）総会における審議事項として、「大学教育と考古学に関する小委員会（仮称）の設置について」が提出されたことが説明された。審議の結果、定時総会において審議事項の「第6号議案その他」で取り上げることで承認された。

なお、類似内容を扱っている研究環境検討委員会との事業整理等については、総会後の次期理事会で協議する。

#### **議案第765号 理事選挙の開票結果及び新理事候補の総会提案について**

谷畑理事から、4月6日（土）に第3回選挙管理委員会を開催して開票作業を行った結果が報告され、協会規則に基づく23名の総会付議候補者及び次点者1名が示された得票順位が提示された。これを受けて、選挙による理事候補者23名及び常務理事1名の合計24名を新理事として、第90回（2024年度）総会で承認を受けることが承認された。

#### **議案第766号 日本考古学協会英文機関誌（JJA）2023年度及び2024年度事業について**

溝口理事から、2023年度刊行の『Japanese Journal of Archaeology』（以下、JJA）Vo 1. 11, No. 1・2は予定より遅れたもののアップしたことが報告された。近年著しく刊行が遅れることから今年度の刊行予算がつかず、また科学研究費補助金も不採択であったが、受付状態の論文が複数あり、今年度1号分を刊行すること、及びその費用支出を求めることが提案された。審議の結果、刊行体制の再整備を行った上で、今年度1号分を刊行する費用を予備費から支出することで承認された。

なお、JJAの今後の扱いについては次期理事会での検討事項とすることとなった。

#### **議案第767号 英文機関誌編集委員会委員の選任について**

佐藤副会長から、英文機関誌の担当理事である溝口理事は、委員任期満了かつ理事の任期を第90回総会で終えることとなるが、JJAの編集体制の再整備や業務の継続性を鑑みて、協会規則第29条第1項に則り次期2024-25年度も引き続き英文機関誌編集委員会委員として選任したいとの説明があり、原案通り承認された。

#### **議案第768号 日本考古学協会公式サイトリニューアル業務委託に係る指名型プロポーザル審査委員会設置等について**

大竹副会長から、3月理事会議案759号で承認された業者に仕様書・実施要項等を送付したところ、2社からプロポーザルへの参加表明を得たことから、業者決定のための指名型プロポーザル審査委員会を設定する必要があるとの説明があり、設置要綱案及び委員会体制、委員任期、審査表案が定時された。審議の結果、原案通り委員会の設置が承認された。

#### **議案第769号 2024年度 賛助会員活動企画(案) について**

大竹副会長から、今年度の賛助会員学習会を11月17日（日）に、宮城県の高賀城跡・東北歴史館の見学を行う予定であり、計画概要とが説明され、原案通り承認された。

#### **議案第770号 2024年度予算(案) の修正について**

肥後理事から、3月理事会議案第760号で承認された2024年度予算について、2023年度決算において未払金を整理したところ債務免除益として収入となり前年度からの繰越金が大幅に増加することとなったため、本年度予算における繰越収支差額を修正するとの説明があり、原案通り承認された。

#### **報告第991号 2024年度第90回総会の全体進行について**

田尻理事から、2024年度第90回総会について「総会実施要項」に基づき、参加予定人数、集合時間等日程並びに進行、役割分担等が確認された。また野口理事から、研究発表会の各会場のオンライン配信設備について補足説明があり、了承された。

#### **報告第992号 高輪築堤跡に関する会長声明について**

藤沢理事から、3月理事会議案第764号で承認された「品川開発プロジェクト第Ⅱ期事業予定地における高輪築堤跡の保存を求める会長声明」について、発出後のプレスリリースの実施及び報道があったとの報告があり、了承された。

#### **報告第993号 2024年度カフェde考古学第1回「魏志倭人伝研究の新たな地平」の実施報告**

澤田理事から、4月13日（土）にカフェde考古学2024第1回「魏志倭人伝研究の新たな地平」を、第13回日本考古学協会賞大賞を受賞した門田誠一氏による講演とトークセッションで開催し、約70名の参加を得たことが報告された。併せて終了後に実施したアンケート結果が報告され、了承された。

#### **報告第994号 会費高額滞納者への催促結果と会員資格の喪失について**

肥後理事から、2021～2023年度会費の滞納により下記の正会員10名が、定款第11条第1項1号に則り会員資格を喪失したとの報告があり、了承された。なお、連絡先を把握している者については滞納会費の督促は継続する。

\* (青森県) \* (岩手県)、\* (山形県)、\* (千葉県)、\* (愛知県)、\* (愛知県)、\* (兵庫県)、\* (奈良県)、\* (佐賀県)、\* (海外)

#### **報告第995号 「アイヌ ネノ アン アイヌ(人が人であるための学問を問う会)」について**

佐藤副会長から、①4月13日（土）に藤沢理事と「アイヌ ネノ アン アイヌ(人が人であるための学問を問う会)」に参加し、また5月10日（金）に藤沢理事・加藤博文会員と北海道教育委員会に研究倫理指針案の説明及びアイヌ関係の取扱いについて意見交換を行った。②先住民族の遺骨の取扱いに関する世界的な状況について情報提供があり、了承された。

#### **報告第996号 「大学における考古学教育に関する実態調査(依頼)」について**

亀田理事から、考古学研究会と合同で行っている大学における考古学教育に関する実態調査のアンケートにおいて、4月16日付けでメールで発出し、現在31件の回答を得ているとの報告があり、各理事に周知の協力が求められた。

## **報告第997号 日本考古学協会公式サイトリニューアル業務企画提案書の提出について**

大竹副会長から、当会公式サイトリニューアル業務指名型プロポーザルについて、参加の回答を得た2社について、今後、企画提案書等の提出を求める予定であるとの行程説明があり、了承された。

## **報告第998号 2023年度下半期会長・副会長会務報告**

辻会長及び佐藤副会長・大竹副会長から、定款第24条第3項の定めにより、それぞれ今年度下半期の各種行事・会議の出席等、職務執行状況について報告があった。

## **報告第999号 各委員会等における2023年度会議等報告について（その1）**

### **1 災害対応委員会の報告**

田尻理事から、4月2日（火）に委員会を開催し、①委員の任期及び委員会体制について確認した。②令和6年能登半島地震に関して石川県・富山県の委員から情報提供を受けた。③令和6年能登半島地震に係る文化財調査・救援の募金について協議し、現地の状況を鑑みて総会等での募金活動は行わず、文化財防災センターの基金やクラウドファンディングの案内をするにとどめる。④文化財防災センターが実施する令和6年能登半島地震文化財レスキュー事業に係る救援隊員の募集に、岡村勝行会員が参加することとなったとの報告があり、了承された。

### **2 埋蔵文化財保護対策委員会幹事会の報告**

藤野理事から、4月13日（土）にオンラインで委員会を開催し、①港区高輪築堤跡について、調査の進捗等について現在の状況を確認し、引き続き状況を注視する。②小山市琵琶塚古墳について要望書を提出した。③鴨川市・南房総市嶺崗牧について、開発等による影響を受けていることから要望書を提出することとし、内容を協議した。④令和6年能登半島地震における文化財被災状況について、情報提供があった。⑤北九州市旧門司駅跡について、現状の報告があり、日本イコモスでは複数の学術団体での合同要望書の発出を検討しているとの説明を受けたとの報告があり、了承された。

### **3 広報委員会の報告**

大竹副会長から、3月14日（木）・3月30日（土）・4月10日（水）に委員会を開催し、①プレスリリースの手順を作成し、高輪築堤跡の会長声明発出に係る報道機関へ情報発信を行った。②公式サイトリニューアルについて検討し、委託業者決定後の新公式サイト構築時の体制について協議したとの報告があり、各理事に公式サイトリニューアル作業時のコンテンツ等の確認についての協力が求められた。

### **4 社会科・歴史教科書等検討委員会の報告**

小菅理事から、3月17日（日）に対面で、4月14日（日）にオンラインで委員会を開催し、①委員の公募状況を確認し、次期委員会体制を協議した。②2023年度の活動の総括を行い、2024年度の活動について i) カフェde考古学2024の実施、ii) 日本旧石器学会・日

本人類学会との連携について協議したとの報告があり、了承された。

## 5 研究環境検討委員会の報告

亀田理事から、4月30日（水）に委員会を開催し、①研究倫理部会の矢島委員長からアイヌラウンドテーブルについて報告を受けた。②第90回総会時に行うポスターセッションの内容を検討した。③次期委員会体制について協議したとの報告があった。続けて水本理事から、研究環境検討委員会が担当のカフェde考古学2024第2回の実施概要の説明があり、了承された。

## 6 国際交流委員会の報告

溝口理事から、①「発掘された日本列島2023」の英語・中国語・韓国語の翻訳による遺跡紹介について、公式サイトで公開した、②『年報』の「総説」を英訳して公式サイトにOverviewとして掲載する事業については、『年報』の刊行日程が12月となったことから、翻訳スケジュールを移行し、今年度に行うこととするとの説明があり、了承された。

### 報告第1000号 初代門司駅関連遺構の保存を求める10学会合同要望書について

溝口理事から、日本イコモス国内委員会が中心となり、初代門司駅関連遺構の保存についての合同要望書の発出を各学術団体へ呼びかけた。当会では会長及び両副会長、埋蔵文化財保護対策委員会で検討を行い、合同要望書に賛同することとなったとの説明があり、11学協会の連名で近日中に発出予定の要望書案が提示され、了承された。

### 報告第1001号 2023年度事業の総会口頭報告原稿について

第90回（2024年度）総会議事における各説明担当理事から、それぞれ口頭説明の原稿が提示され、確認を行った。一部修正の指摘があり、また未提出の説明原稿については追加での提出が求められた。

### 報告第1002号 高校生ポスターセッション参加記念品の募集

田尻理事から、第90回（2024年度）総会における高校生ポスターセッション記念品として、参加校数分の刊行物等の寄贈が各理事に求められた。

### 報告第1003号 島根県隠岐郡海士町所在竹田遺跡の発掘調査資料について

佐藤副会長から、当協会がかつて発掘調査を行った島根県隠岐郡海士町武田遺跡の図面・出土遺物について、島根県立出雲歴史博物館から①整理途中で発見された遺構図を『古代文化研究』32号に掲載したことの報告、②企画展での本出土品の展示要望、③発掘調査資料を島根県教育委員会の所蔵品としたい旨の連絡があったことが報告された。②についてはチラシ等に協力を明記いただくことで、いずれも承知することとしたいとの説明があり、了承された。また、過去に協会の特別委員会で調査した遺跡の遺物・図面等の資料についての問合せがあった場合は、同様の措置をとることが併せて了承された。

## その他

### **1 2023年度宮城大会関係の報告等について**

辻会長から、2023年度宮城大会の発表における会員からの問い合わせについて、取扱いを弁護士と相談しているとの説明があった。

### **2 会務引継書の提出について**

山崎事務局長に代わり事務局の林主事から、会務引継書の未提出者に早急な提出が求められた。

### **3 協会ノベルティオリジナルグッズについて**

大竹副会長から、高校生ポスターセッション発表者への記念品として作成した付箋の見本が提示され、オリジナルグッズとして総会・大会等で販売する700個の価格等の説明があった。

以 上

